

科目コード	2694433	授 業 概 要	【授業内容】 本講義では、奥深い中国茶の世界を入口に、初心者から学べる中国語の基礎と、その背景にある豊かな文化を総合的に学びます。 1日目は発音の要であるピンインと四声を徹底し、茶葉や茶器の名称を通じて正しい音節を身につけます。 2日目は、台湾出身の講師ならではの視点で、近年人気の高い台湾の茶館文化や飲茶の習慣を深掘りします。 歴史的な「茶馬古道」から、現代のカスタマイズ注文、健康に役立つ「養生」の知恵まで、旅先で役立つ生きた表現を習得します。 数種類の茶葉を比較し、淹れ方を体験する時間も設け、五感をフルに活用して学ぶ2日間です。 【到達目標】 1. 中国語の基本発音を理解し、代表的な茶葉や茶器、点心の名称を正確に発音できるようにになる。 2. 指示代名詞や量詞、基本動詞を用いて、お茶を淹れる手順や好みの味を簡単な中国語で説明できるようになる。 3. 台湾の茶芸館等の実場面を想定し、注文や挨拶、感想の授受といった基本的なコミュニケーションを中国語で行うことができる。 【授業テーマ】 第1回 茶の歴史とピンインの基礎：四声と母音をマスターする 第2回 六大茶類の名前で学ぶ：子音の出し方と色の中国語 第3回 【体験】茶器の名称と数え方：指示代名詞と量詞を学ぶ 第4回 美味しいお茶を淹れる：手順を説明する動詞と基本文型 第5回 台湾の茶館文化と旅の会話：場所の表現と好みの伝え方 第6回 【体験】養生文化と感想の表現：状態を表す形容詞と語彙 第7回 実践ロールプレイ：茶館や飲食店での注文と交流を試す 第8回 2日間の総復習：お茶を囲んだ会話実践と学習成果の確認 【学生へのメッセージ】 お茶の香りに癒やされながら、楽しく中国語の基礎を学びませんか？ 台湾出身の講師が、本場の淹れ方や文化を五感で味わう体験を通してお伝えします。 初心者大歓迎です！一緒に美味しい時間を過ごしましょう！ 【受講前の準備学習等】 【事前学習】 中国語の発音の仕組みや、六大茶類（緑茶・烏龍茶等）の分類について、インターネットや書籍等で事前に調べておいてください。 【事後学習】 各回の講義内容を振り返り、配布資料の「学習記録欄」も活用しながら、学んだ発音や知識を整理してください。これらは2日目の試験準備となります。 【成績評価の方法】 成績評価は、筆記試験および口頭試問の結果により行います。筆記試験では、講義で扱ったお茶に関する語彙の習得と発音表記の理解度を、口頭試問では基本の発音を確認します。授業を通して学んだ「生きた中国語」の定着度を最終時限の試験によって総合的に評価します。 【受講者が当日用意するもの】 1. 筆記用具 2. ティッシュペーパーまたはハンドタオル（試飲の際、机にこぼれた滴を拭くなど、衛生管理のために使用します） 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。 本授業では、中国茶・台湾茶の試飲を行います。カフェインの摂取を抑えている方や、茶葉等にアレルギーをお持ちの方は、受講前にご自身の体調をご確認ください。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	五感で楽しむ 中国茶・台湾茶文化		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	リン ギンティ 林 吟貞 山梨大学非常勤講師		
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2694441	授 業 概 要	【授業内容】 幅広い年齢層の運動が苦手な方を対象とした授業です。骨や筋肉を鍛えるのではなく、楽しく技を学びましょう。授業の中では散歩とキャッチボールを行います。授業時間内に少し汗をかいてもらって、身体を動かす知恵を楽しく学んでもらえる時間にしたいです。授業にはグループディスカッションをふんだんに取り入れて、皆さんで知恵を共有できればと考えています。 【到達目標】 環境の変動を捉え、そこになじむ動きを立ち上げる知恵を得られるようになること。自分自身だけでなく、他の受講生を知恵も取り入れて拡大できればよりよいと考えます。 【授業テーマ】 第1回 歩行の力学と神経科学 第2回 この世と自身の動きを捉える生き物の知覚運動システム 第3回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、教室で理解する 第4回 学内散歩を実現する頭と身体の仕組みを、歩いて理解する 第5回 自分の身体を自由自在に動かす「知覚運動学習」の仕組み 第6回 ジャグリングの要領を身体で覚える 第7回 ジャグリング学習の仕組みを頭で理解する 第8回 頭と身体を使って世の中とつながるシステム設計 【学生へのメッセージ】 おしゃべりしながら、身体を動かしながら、楽しく私たちの頭と身体を動かす情報処理の仕組みを知りましょう。必要なのは万全の体調、それだけです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの採点により行います。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：保健体育」に該当します。 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	からだのうごきの科学		
科目区分	基盤科目：保健体育		
ナンバリング	110		
定員	20名		
担当講師	キシマ アキフミ 木島 章文 山梨大学教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2694450	授業概要	【授業内容】
学習センター	山梨学習センター		この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。
学習センターコード	19A		【受講前の準備学習等】
クラスコード	K		【受講者が当日用意するもの】
科目名	音と絵の対話2		【その他（特記事項）】
科目区分	導入科目：人間と文化		を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。
ナンバリング	220		「音と絵の対話」の続編です。音や音楽と絵をはじめとした様々な視覚的なものとの関連について考えたり感じ取ったり、関連を基に受講生のみなさんと音楽をつくったりします。芸術家の作品に関連する音や音楽から、映像や風景の音など身近なものまで取り上げます。音や音楽の聴き方・見方、視覚的なものの見方・聴き方を問い直してみたいと思います。
定員	15名		【到達目標】
担当講師	コジマ チカ 小島 千か 山梨大学教授		音や音楽と視覚的なものとの関連について、授業で取り上げた内容や授業での体験を基にして説明することができる。
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00		【授業テーマ】 第1回 日本絵画における時間性 第2回 現代音楽と現代絵画 第3回 パウル・クレーの絵を基にした音楽 第4回 レゴブロックとソングメーカーを用いた制作 第5回 絵本と音楽 第6回 映像と音楽 第7回 環境音楽 音響彫刻 第8回 絵を基にした音楽づくり
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び★山梨大学音楽総合演習室（山梨大学甲府キャンパス内）】で行います。		【学生へのメッセージ】 グループワーク、個別ワークに積極的にご参加ください。 【受講前の準備学習等】 音や音楽と視覚的なものの関連について、「これはおもしろい!」というものを見つけておいてください。また、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
			【受講者が当日用意するもの】 ・1日目（第4回）はインターネット上での音楽制作を行います。スマートフォン、タブレットも可能ですが画面が小さいので可能であればノートパソコンをご持参ください。 ・音楽制作の授業ではインターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN 利用については、システム WAKABA 学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。OS 等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 パソコン、スマートフォン、タブレットのいずれかの機器の持ち込みは、必須なのでOS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 同機器については、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。機器に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。

科目コード	2694468	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 コンピュータは、同じ結果を得る場合でも、処理手順（アルゴリズム）によって処理の速さや効率が大きく変わります。本授業では、アルゴリズムの重要性について、身近な例や簡単な実習を通して学びます。具体的には、数字の並べ替え（ソート）を題材とし、人間の手作業を出発点として、並べ替えの方法の違いを体験し、考え方の重要性を理解します。あわせて、C言語による簡単なプログラムを用い、考えた手順をコンピュータで確かめることで、アルゴリズムの基礎的な考え方を身につけます。 【到達目標】 手順の違いによって処理の効率が変わることを理解し、簡単な例についてプログラムで確かめることができる。 【授業テーマ】 第1回 アルゴリズムとは？ 第2回 バブルソート 第3回 挿入ソート 第4回 選択ソート 第5回 データの質による違い 第6回 マージソート 第7回 データの量による違い 第8回 手法の比較 【学生へのメッセージ】 主として、アルゴリズムについて学んだ経験がない方を対象とします。C言語プログラミングの経験がない方でも受講可能です。実習を行いますので、キーボードを見ながら構いませんが、文字入力に苦労しない程度の初歩的なコンピュータのスキルが必要です。 【受講前の準備学習等】 ・受講の準備として、異なる数字が書かれた複数のカードがでたらめに並んでいるときに、それらを数字の小さい順に並べ替える方法を考えてみてください。その方法を言葉で説明できるようにするとともに、できるだけたくさんの方を考えてみてください。 ・ファイルのコピーなどコンピュータの基本的な使い方の復習をしておいてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の葉」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください（タブレット、スマートフォンは不可です）。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ブラウザが必要です。Chromeを推奨します。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・明快入門C スーパービギナー編（林晴比古／ソフトバンククリエイティブ（株）／¥1,760／ISBN=9784797374612） C言語初心者用の本です。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	はじめてのアルゴリズム	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	220	
定員	15名	
担当講師	ハットリ モトノブ 服部 元信 山梨大学教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 試験・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	

授業概要

科目コード	2694476	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 人工知能やAIと呼ばれるものは、いまや生活の中に溶け込んでいます。私たちの使うシステムやサービスの背景には人工知能が実際に活躍をしています。この講義では、人工知能を理解するための第一歩として、その特徴を平易に説明します。さらにコンピュータを使った簡単な実習をとおして、内容の理解を深めます。この講義の終了時には、人工知能で何ができるのか説明できるようになります。 【到達目標】 ・人工知能の基本的な考え方を理解し、人工知能で何ができるのか説明できるようになる。 ・生成AIの使い方についてその特徴を把握し、利点や欠点を的確に説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 人工知能とは何か 第2回 さっそく使ってみよう 第3回 生成系AI：文章生成 第4回 生成系AI：プロンプト作成 第5回 生成系AI：画像生成 第6回 応用編：AIを作る1 第7回 応用編：AIを作る2 第8回 ふりかえりとまとめ 【学生へのメッセージ】 この講義ではコンピュータを使った実習を行います。初歩的なコンピュータのスキルが必要です。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 ・インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。 ・OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ・ウェブカメラ付きのノートパソコンを持参してください（物理キーボード付きのタブレットは可能・スマートフォンは不可）。 2. OSの指定 ・種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS、Android等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザを使用しますが種類は問いませんので、特別なソフトのインストールは不要です。 4. その他 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。 端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	試して学ぶ人工知能	
科目区分	導入科目：情報	
ナンバリング	210	
定員	15名	
担当講師	ゴウ ケンタロウ 郷 健太郎 山梨大学教授	
日程 実施時間	11月14日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月15日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	授業概要

科目コード	2694484	授 業 概 要	【授業内容】 日本の大部分は森林であり、世界的にみても高い森林率であり、われわれは多くの多面的機能を享受しています。ただ、森林内では多方面の問題に直面しており、里山の荒廃、人工林の手入れ不足、獣害問題、資源の未活用など、多くの課題が山積みとなっています。本授業では、日本の森林や生態系について正しく理解し、林業や里山保全や野生動物対策などの実際の取り組みを紹介しながら、森林保全や狩猟で使用する道具の使用法などを学びます。また、講義だけでなく、樹木を見分けるコツや、野生動物資源のワークショップなどの体験の学習をおこないます。 【到達目標】 多様な森林や生態系について理解し、それぞれの森林問題について説明できる。また、その解決に向けた取り組みである森林整備や資源活用について理解し、森林や自然環境を見る目を養うことで、森林保全活動や野生動物対策の重要性を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 日本の森林の現状（講義） 第2回 森林や樹木を見るコツ（実習） 第3回 森づくりと林業（講義） 第4回 森林整備の道具に触れる（実習） 第5回 野生動物対策と狩猟（講義） 第6回 狩猟の道具に触れる（実習） 第7回 野生動物の資源活用ワークショップ（実習） 第8回 ふりかえりとまとめ 【学生へのメッセージ】 森林とのかかわりの少ない未経験者を対象としています。森林を理解することで、自然をみる目が大きく変化します。知っているようで知らない、森林の魅力を感じてもらい、今後の森林問題へ関心を深めてもらいたいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目」に該当します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	はじめての森林整備と資源活用		
科目区分	導入科目：自然と環境		
ナンバリング	210		
定員	20名		
担当講師	イド ナオキ 井戸 直樹 合同会社森のたね代表		
日程 実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2694492	授 業 概 要	【授業内容】 平成19年に始まったがん対策推進基本計画も令和5年からは「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す」を掲げた第4期計画が始まっています。この間、生存率の向上に反映される著しい医療の進歩を遂げると同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座ではこれらの変遷を「がんの疫学」、「がんの診断」、「がん検診の意義」、「がんの治療」をテーマに、さらに第4期計画でも主要テーマとなっている「がん検診」「がんとの共生」を加え学習を行います。 【到達目標】 国民の健康保険を理解するため、最新の「がんの疫学」、「がんの診断」、「がん検診の意義」、「がんの治療」を学習し、自ら「がんとの共生」を考えることでがん対策推進基本計画の目指すところを説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 がんの疫学－1 第2回 がんの疫学－2 第3回 がんの診断 第4回 がん検診の意義 第5回 がんの治療－1 第6回 がんの治療－2 第7回 がんとの共生－1 第8回 がんとの共生－2 【学生へのメッセージ】 この10年余りで、生存率の向上に反映されるようにがん医療は著しい進歩を遂げています。同時にがん医療を取り巻く社会環境や人々の考え方も大きく変わりつつあります。この講座では最新の情報を提供するとともに、相互の経験や考えを共有することによりこれからのがん医療を一緒に考えていきたいと思います。 【受講前の準備学習等】 自分自身や周囲で経験あるいは見聞きした「がん医療」について、感じたこと、疑問に思った事をまとめておいてください。 【成績評価の方法】 授業中の学修と情報共有の参加状況及び、「がんとの共生」をテーマに自らの考えをまとめていただきレポートあるいは発表を行っていただきます。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	がん医療の最前線		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	310		
定員	25名		
担当講師	イタクラ ジュン 板倉 淳 山梨大学医学部非常勤講師		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	山梨学習センター		

科目コード	2694506	【授業内容】 人はどのようにして衣服をつくってきたのでしょうか？衣服の原料となる繊維は塵のように軽く、細いものです。このような繊維をコントロールして衣服にまでするには、幾つかの重要な技法の発見が必要であったことは想像に難くありません。授業では簡単な道具を用い、羊毛を紡いでミニマフラーを織ります（糸車や織機は使いません）。「紡ぐ（撚る）」、「織る」といった服飾の原点とも言える技法を講義や実習で学びながら、衣服づくりの道筋を辿ってみましょう。 【到達目標】 ・「撚る」技法や「織る」技法について説明することができる。 ・実際に羊毛を紡いで糸をつくり、平織の布を製作することができる。 ・講義や実習から得た知見を活かし、自身の衣生活をより良いものにする手立てを提案することができる。 【授業テーマ】 第1回 紡ぐ（1 服飾の原点となる技法：撚る） 第2回 紡ぐ（2 羊毛のカーディング） 第3回 紡ぐ（3 スピンドルを使って糸を紡ぐ） 第4回 紡ぐ（4 双糸をつくる） 第5回 織る（1 服飾の原点となる技法：織る） 第6回 織る（2 整経） 第7回 織る（3 手織り） 第8回 着装とまとめ 【学生へのメッセージ】 糸紡ぎや機織りの未経験者を対象としています。製作進度等によっては各回の内容が変わる場合もあります。授業は技法の理解や習得を目指しています。市販品のような立派なものはつくれませんのでご注意ください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。マフラーのサイズは製作の速度にもよりますが、幅15cm長さ75cm程度の小さなものを予定しています。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実習課題への主体的な取り組みとレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 筆記用具。感染予防や羊毛から出るホコリを防ぐために、マスクのご準備・着用をお願いします。動きやすく汚れても良い服装でお越し下さい。水分補給のための飲み物は、フタの閉まる容器のものをお願いします。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 製作工程は、学生どうしで二人組、またはグループになって行うものが多いです。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	紡ぐ・織る －服飾の原点の技法	
科目区分	専門科目：生活と福祉	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オカマツ メグミ 岡松 恵 山梨大学准教授	
日程 実施時間	10月31日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月1日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2694514	【授業内容】 臨床心理学の基礎を、体験を通して学びます。ある課題への問題解決や、(ソーシャルディスタンスを取りながら) グループ討議などを行い、自分自身と他者の理解を深めていきます。簡単なロールプレイ等、実際に動いて身体を通して学んでいく予定ですので、動きやすい服装で、体調管理を万全にして受講にのぞんでください。各コマ課題があり、スモールステップ形式で深めていきますので、全コマ出席できる方に限ります（遅刻早退は不可）。課題ごとにレポートを課します。 【到達目標】 実習を通して学ぶことで、自己理解・他者理解・相互理解につなげていき、臨床心理学の基礎を理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 ウォーミングアップ 第2回 自己へのアプローチ 1 第3回 問題解決の方法 第4回 シェアリングとまとめ 第5回 自己へのアプローチ 2 第6回 自己表現と他者表現 1 第7回 自己表現と他者表現 2 第8回 まとめ・質疑応答 【学生へのメッセージ】 課題を出しますが、答えが用意されているというのではなく、受講生各人の中に、その答えはあります。積極的に参加してください。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。授業当日、「いま、ここで」を大切に授業展開します。心身の健康を整え、臨んでください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 12～24色程度の色鉛筆・クレヨン・パステルなど、自身が使いやすいもの。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	臨床心理学実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	サトウ ヒトミ 佐藤 仁美 放送大学准教授	
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 10月25日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2689162	【授業内容】 ----- この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 を読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 ----- この授業では、心理学の基礎的な研究テーマを基に、実験心理学でよく使用される方法と考え方を学びます。具体的には、実験者や実験参加者として参加し、データを収集してそれを処理し、得られた結果とそこから考察できることをレポートにまとめるという、研究の一連の作業を学びます。 研究テーマは「鏡映描写」、「ストループ効果」、「囚人のジレンマ」の3種類です。原則として8コマすべての授業に出席し、授業終了後に、3つすべての実験についてレポートを提出していただきます。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 心理学研究のやり方とレポートの書き方 第2回 鏡映描写1：実験 第3回 鏡映描写2：データの処理と解説 第4回 ストループ効果1：実験 第5回 ストループ効果2：データの処理と解説 第6回 囚人のジレンマ1：実験 第7回 囚人のジレンマ2：データの処理と解説 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 心理学の実験研究は、データを計算して結果にまとめる作業を伴うものです。授業での班活動やレポート作成のために、パソコンで文字・数字を入力することが求められます。皆さんが研究のプロセスを実際に体験しながら、心理学の奥深さを共に学んでいきましょう。 なお、紙媒体でレポートを提出した方で返却を希望する方は申し出てください。また、レポートに関するコメント等はいりません。 【受講前の準備学習等】 インターネットへの接続はしないため、学習センターでの無線LAN利用申請等は不要です。 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。ただし、実習課題について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（24）」、「心理学研究法（20）」、「心理学統計法（21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び学術レポートの評点により行います。レポートは期限を設定の上、後日提出していただきます。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等）。 3. ソフトのインストール ・ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 ・ワードとエクセルが入っているパソコン ・筆記用具（黒鉛筆、赤鉛筆） ・グループ内でデータのやりとりをするので、USBメモリを必ず持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理学実験・研究レポートの書き方 学生のための初歩から卒論まで（B. フィンドレイ（細江達郎・細越久美子訳）／北大路書房／¥1,430／ISBN=9784762820465） 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。色識別を要する実験課題があります。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験3	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	20名	
担当講師	サカイ アツシ 酒井 厚 東京都立大学教授	
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月6日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター	

授業概要

科目コード	2689189	授業概要 【授業内容】 心理検査によるアセスメントの基礎知識について解説するだけでなく、実際に心理検査を体験し、各種心理検査の採点方法・解釈について理解することを目的としています。自分自身が心理検査を体験しながら、心理検査の理論や査定（アセスメント）について検討していきます。臨床現場における心理検査の実施にあたって気を付けるべきことや活用の仕方についても学びます。 ※原則として8回の授業すべてに出席し、3種類すべてのレポートを提出する必要があります。 【到達目標】 心理検査法を「検査者」や「被検査者」として体験的に学ぶことにより、心理検査を実施することの意義と具体的手続き、及び心理検査を実施する上での倫理を説明できるようになる。 検査の結果を適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション（心理検査とアセスメントについて） 第2回 心理検査の種類と概要 第3回 検査実習①エゴグラム 第4回 解説＋心理検査①レポート執筆指導 第5回 検査実習②文章完成法・PFスタディ 第6回 解説＋実習②レポート執筆指導 第7回 検査実習③（バウムテスト・風景構成法） 第8回 心理検査の活用と注意点＋総まとめ 【学生へのメッセージ】 様々な心理検査について学びを深め、実際に体験しながらご自身の結果について考察していきます。心理検査の結果がどのように活かされていくのかについて理解するために、臨床現場で用いられる所見形式に沿ってレポートを作成します。この授業を通じて自己理解や他者理解を深めていただければと思います。 【受講前の準備学習等】 ・シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 ・実習で使用する心理検査についてあらかじめ調べておく必要はありません。 ・「心理学概論」等で既習の「心理学の研究方法」、「パーソナリティ心理学」、「臨床心理学」等について復習をしておいてください。 ・パソコンを持参してレポート作成を行うことも可能です。パソコンを持参してのレポート作成は、メールでの提出となりますので、キャンパスメールの使用ができるようにしておいてください。 ・パソコンを持参の場合、インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の栞」をご参照ください。OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 ・この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。 事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 ・鉛筆2、3本と消しゴム、赤のボールペン、定規（短いものでよい） ・色鉛筆（12本入り） ・レポートをPCを用いて作成される場合には、ノートパソコンを持参してください。 ・レポートは紙媒体での提出も可能です。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・心理的アセスメント（公認心理師の基礎と実践）（津川律子（著 編集）、遠藤裕乃（著 編集）、酒井佳永（著）、遠矢浩一（著）小山充道（著）、武山雅志（著）&11その他／遠見書房／¥2,740／ISBN=9784866160641） 【その他（特記事項）】 パソコンを持参する場合は、事前にフル充電しておき、充電切れが生じたときのためにACアダプタも必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理検査法基礎実習	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	40名	
担当講師	フタベ ユキコ 渡部 雪子 山梨大学准教授	
日程 実施時間	12月12日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月13日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 読書・レポート等 16:15～17:00	
実施会場	山梨学習センター	

科目コード	2689146	【授業内容】 この授業は自分用パソコン持ち込み方式（BYOD：Bring Your Own Device）で実施します。 【受講前の準備学習等】 【受講者が当日用意するもの】 【その他（特記事項）】 読み、受講環境を自身で整えられるか確認してから科目登録してください。 心理学における基礎的実験として「記憶範囲」「メンタルローテーション」「要求水準」の3つを取り上げます。受講生の皆さんは、これらの実験に実験者あるいは参加者として取り組み、分析結果をレポートとしてまとめます。授業を通して、心理学の実験方法、データ分析の方法、レポートの書き方について理解することを目指します。受講生の皆さんは、原則として全8回の授業にすべて出席し、3つの実験すべてについてレポートを作成・提出する必要があります。 【到達目標】 心理学の実験を「実験者」や「参加者（協力者）」として体験的に学ぶことにより、心理学で重視される実証研究の考え方と具体的な手続きを説明できるようになる。実験で得られたデータを適切な手法によって分析し、その結果を考察して、心理学の標準的な形式に則ったレポートとしてまとめることができる。 【授業テーマ】 第1回 オリエンテーション：心理学実験とは 第2回 記憶範囲：実験 第3回 記憶範囲：データ分析・レポート執筆指導 第4回 メンタルローテーション：実験 第5回 メンタルローテーション：データ分析・レポート執筆指導 第6回 要求水準：実験 第7回 要求水準：データ分析・レポート執筆指導 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 実験の実施とデータ分析、およびレポート作成にはパソコンを用います。基本的なパソコン操作（Word、Excelの計算や図表作成を含む）については、あらかじめ各自で習得していることが望ましいです。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。実習課題の内容について、あらかじめ調べておく必要はありません。また、授業で学習した内容をもとにして復習を行い、理解を深めてください。 WordやExcelの基本的な操作について確認しておくことをお勧めします。 インターネットへの接続が必要です。学習センターでの無線LAN利用については、システムWAKABA学内リンクにある「面接授業のページ」または「学生生活の菜」をご参照ください。 OS等のセキュリティ修正プログラムを適切に適用してください。また、ウイルス定義ファイルも適切に更新してください。 なお、この授業の受講には、心理学の基礎的知識が必要です。放送大学または他大学において心理学の講義（概論、研究法、統計学など）を受講し、4単位程度を修得済みであることが望ましいです。事前に上記の講義を受講することが困難な場合には、放送大学のインターネット配信で「心理学概論（'24）」、「心理学研究法（'20）」、「心理学統計法（'21）」を視聴してください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業内で実施する実験課題への主体的な取り組みの状況、およびレポートの評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 1. 持参する端末 ノートパソコンを持参してください。 2. OSの指定 種類は問いません（Windows、macOS、ChromeOS等） 3. ソフトのインストール ブラウザはMicrosoft Edge（エッジ）、Google Chrome（クローム）、Mozilla Firefox（ファイアーフォックス）、Safari（サファリ）のいずれかが必要です。 ・Wordが必要です。 ・Excelが必要です。 4. その他 ・マウスを持参してください。 ・ソフトのバージョン指定はありません。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 充電を完了した端末と、充電切れが生じたときのためにACアダプタを必ず持参してください。端末等に不具合が発生した場合、講師や学習センター職員では対応できないため、自身で解決する必要がありますのでご注意ください。 なお、端末の故障や必要なソフトをインストールしていなかったなど、本学の責によらない事情で受講できなかった際は、単位認定できない場合がありますのでご了承ください。 心理学実験1、心理学実験2、心理学実験3は、難易度の違いによるものではありません。いずれの科目からでも受講可能です。
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	心理学実験2	
科目区分	専門科目：心理と教育	
ナンバリング	320	
定員	15名	
担当講師	オンダ リョウスケ 小野田 亮介 山梨大学准教授	
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 12月20日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15	
実施会場	山梨学習センター	

授業概要

科目コード	2694522	授業概要	【授業内容】 クリスタル（結晶）は、宝飾産業を地場産業の一つとする山梨県に密接に関わっています。山梨大学のクリスタル科学研究センターでは、これまで、水晶、ルビーやルチルなどの人工合成技術を開発してきており、現在ではその技術を機能性無機材料へ応用する研究を行っています。本講義では、クリスタルに慣れ親しんでもらうためにクリスタルの基礎について科学的に解説するとともに人工水晶などのクリスタル作りの実習を行います。 【到達目標】 ・結晶の特徴と社会における役割、また、山梨県における結晶に関する産業の位置づけを理解し説明できる。 ・結晶の合成方法を理解し説明することができる。 ・結晶の水熱合成実験を通じて、水溶液からの結晶生成について理解し説明できる。 ・融液からの結晶生成実験を通じて、融液からの単結晶の育成について理解し説明できる。 ・結晶の光学特性や特性の測定などについての知識を深め、理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 結晶とは（武井・綿打） 第2回 結晶はどのようにしてできるか（武井・綿打） 第3回 人工水晶を作るう1（溶解→析出による結晶育成）（武井・綿打） 第4回 結晶の顕微鏡観察（武井・綿打） 第5回 人工宝石を作るう1（融解→凝固による結晶育成）（武井・綿打） 第6回 人工水晶を作るう2（武井・綿打） 第7回 人工宝石を作るう2（武井・綿打） 第8回 物質の色（武井・綿打） 【学生へのメッセージ】 結晶に関する基礎知識を学び、人工宝石の合成、顕微鏡観察および分光器の作製などの実習を行います。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び各回で課す小テストにより行います。 【受講者が当日用意するもの】 センター内移動用に上履きをご持参ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【その他（特記事項）】 「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。（面接授業開設科目一覧P.5参照）
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	クリスタル科学		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	20名		
担当講師	タケイ タカヒロ 武井 貴弘 山梨大学教授 ワタウチ サトシ 綿打 敏司 山梨大学教授		
日程実施時間	11月7日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月8日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00		
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び★山梨大学クリスタル科学研究センター】で行います。		

科目コード	2694530	授業概要	【授業内容】 ワインに関する基礎を学びます。ワインの原料である「ぶどう」、アルコールを造る「酵母」やワイン醸造法等の基礎知識や最新の日本ワイン情報を身につけていただきます。また、講義の後半には、実際のワイン醸造現場での学習も行います。さらに、ワインを美味しく味わうために、実際にワインのテイスティングを体験実習します。 【到達目標】 赤ワインや白ワインの醸造方法の違いや、日本ワインの最新情報を説明することが出来る。 【授業テーマ】 第1回 ワインとブドウ 第2回 ワイン醸造と微生物 第3回 海洋酵母ワインと赤池幻酵母ワイン、開府500年スパークリングワイン 第4回 ワインと健康 第5回 日本ワインについて 第6回 ワインのテイスティングについて 第7回 ワイン科学研究センターの説明と見学 第8回 ワインの保存方法及びワインを飲むときの正しいマナーについて 【学生へのメッセージ】 注1）面接授業2日目最終講義終了後、ワインのテイスティングの講習を行います。 注2）テイスティングには受講者全員の参加を希望します。 注3）20歳未満、車での来校者は受講出来ません。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 面接授業2日目第3時限に簡単なレポートを課し、その評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 テイスティング代として、当日2,000円いただきますのでご用意ください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	ワインの基礎知識		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	22名		
担当講師	ヤナギダ フジシ 柳田 藤寿 山梨大学特任教授		
日程実施時間	2027年1月9日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 2027年1月10日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～14:35 第4時限 14:35～15:20 第5時限 15:30～17:00		
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び1月10日(日)のみ★山梨大学ワイン科学研究センター】で行います。		

科目コード	2694549	授業概要 【授業内容】 ひとと自然の関わりあいのなかで形成された景観を「文化的景観」(cultural landscape) といいます。文化遺産保護のなかで制度的に位置づけられた語であり、視覚的な景観とともに、それをかたちづくる地域のシステムを価値づけ、保全継承しようとする考え方です。 本科目では、講義と現地見学を通じて、その概念、価値理解の方法、保全・継承と地域づくりのあり方などについて学ぶとともに、文化的景観が文化遺産保護制度にとどまらず持続可能で豊かな社会創造に果たす役割を議論することで、文化資源としての文化的景観の役割・展望について考察します。 【到達目標】 文化的景観の概念・考え方を理解し、身近な地域を文化的景観として捉え、その活かし方などを考えることができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 景観とは？／日本における景観論 第2回 文化的景観の登場：世界遺産と文化的景観 第3回 日本における文化的景観：文化財保護法と文化的景観 第4回 文化的景観として地域を読み解く 第5回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観 第6回 現地見学：勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観 第7回 現地見学まとめ／文化的景観の価値と保全・活用 第8回 文化的景観概念の広がり 【学生へのメッセージ】 座学における学びと日本有数のブドウ産地・ワイナリー醸造地である勝沼の文化的景観の現地見学を通じて、文化資源としての景観のみかた、活かし方の基本を学習していきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの採点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 2日目午前は「勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観」に関する現地見学(まちあるき)を実施します。歩きやすい服装・靴等(雨天の場合は雨具)、飲み物などを用意してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・勝沼のブドウ畑及びワイナリー群の文化的景観調査報告書(山梨大学大学院総合研究部生命環境学域菊地研究室、甲州市教育委員会文化財課 編／甲州市／) 非売品(公共図書館等でご覧ください) 甲州市ホームページでPDFにて閲覧可(https://www.city.koshu.yamanashi.jp/docs/2021061600037/) ・歴史は景観から読み解ける：はじめての歴史地理学(上杉和央／ベレ出版／¥1,870/ISBN=4860646347) 【その他(特記事項)】 1日目は山梨学習センター講義室、2日目は甲州市勝沼町内(午前)及び甲州市勝沼ぶどうの丘会議室(午後)で実施します。現地へのアクセス、集合時間・場所などについては、科目登録決定後、詳細を学習センターより受講者に通知します。 ※現地見学では3時間程度をかけて、6～7km程度を徒歩で移動する予定です(少雨実施)。歩く距離がやや長いため、体調管理には十分気をつけてください。 ※見学施設の入館料等が必要となります(自己負担100円程度)。 ※「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄りの学習センターにて加入してください。(面接授業開設科目一覧P.5参照)
学習センター	山梨学習センター	
学習センターコード	19A	
クラスコード	K	
科目名	文化資源としての景観	
科目区分	専門科目：人間と文化	
ナンバリング	320	
定員	25名	
担当講師	キクチ ヨシト 菊地 淑人 山梨大学准教授	
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限 9:00～10:30 第2時限 10:35～12:05 第3時限 13:00～14:30 第4時限 14:40～15:25 試験・レポート等 15:25～16:10	
実施会場	この授業は、【山梨学習センター及び11月29日(日)のみ★甲州市勝沼ぶどうの丘】で行います。	

科目コード	2694557	授業概要	【授業内容】 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は海外でもさらに高まっています。しかし、富士山について自然科学的な側面から学ぶ機会はなかなかありません。特に、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみとしての水に関する、最新の自然科学的成果について解説も多くありません。 本講義では、火の山富士山として日本列島の誕生とかかわりが深く、三つのプレートが衝突する得意な地質的位置から、火山として富士山の成り立ちまで基礎的なことを学びます。そのうえで、水の山富士山として、豊富に湧き出す水の由来とめぐみについて学びます。 【到達目標】 富士山を例として火山噴火の現象を理解し、災害から自分の身を守るために、どうすればよいかを理解できる。また、火山の大きなめぐみについて自然科学的な側面から理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 火の山富士山 日本列島の誕生から富士山の成り立ち 第2回 火山の基礎と噴火様式 第3回 富士山の噴火の歴史 第4回 火山の噴火災害から身を守る 第5回 水の山富士山 どこを流れている？ 第6回 様々な水質とその起源 第7回 水の山富士山 そのめぐみ 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 富士山は「火の山」火山として荒ぶる山としての認識、かたや「水の山」として清涼な水の大きな水瓶となっています。このような富士山の光と影について、自然科学的な側面から一緒に考えていければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスを参考にして、参考図書を読んで自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみてください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・富士山噴火 その日に備える（藤井敏嗣／岩波書店／¥1,100／ISBN=9784004320852） 火山の学習として、特に活火山富士山の成り立ちとその防災減災について、学べます。 ・地学雑誌 小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号）2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山 高ほか／東京地学協会／¥0） 次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents/-char/ja/ ・富士山境目図鑑（山梨県富士山科学研究所／丸善出版／¥2,420／ISBN=9784621305119） 富士山の5合目以上の自然環境動植物ことや活火山として富士山の成り立ち等を解説されています。 ・現場で熱を感じ探る 火山の仕組み（宇井忠英／ベレ出版／¥2,420／ISBN=9784860647360） 火山噴火の現象毎に写真など使用して、火山とはなにか 噴火の仕組みなどが解説されています。 ・地球進化 46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276／ISBN=9784062578653） 地球・太陽系の誕生からはじめて、地球の歴史についてまとめられています。
学習センター	山梨学習センター		
学習センターコード	19A		
クラスコード	K		
科目名	富士山ー火山と水ー		
科目区分	専門科目：自然と環境		
ナンバリング	320		
定員	40名	授業概要	【授業内容】 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は海外でもさらに高まっています。しかし、富士山について自然科学的な側面から学ぶ機会はなかなかありません。特に、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみとしての水に関する、最新の自然科学的成果について解説も多くありません。 本講義では、火の山富士山として日本列島の誕生とかかわりが深く、三つのプレートが衝突する得意な地質的位置から、火山として富士山の成り立ちまで基礎的なことを学びます。そのうえで、水の山富士山として、豊富に湧き出す水の由来とめぐみについて学びます。 【到達目標】 富士山を例として火山噴火の現象を理解し、災害から自分の身を守るために、どうすればよいかを理解できる。また、火山の大きなめぐみについて自然科学的な側面から理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 火の山富士山 日本列島の誕生から富士山の成り立ち 第2回 火山の基礎と噴火様式 第3回 富士山の噴火の歴史 第4回 火山の噴火災害から身を守る 第5回 水の山富士山 どこを流れている？ 第6回 様々な水質とその起源 第7回 水の山富士山 そのめぐみ 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 富士山は「火の山」火山として荒ぶる山としての認識、かたや「水の山」として清涼な水の大きな水瓶となっています。このような富士山の光と影について、自然科学的な側面から一緒に考えていければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスを参考にして、参考図書を読んで自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみてください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・富士山噴火 その日に備える（藤井敏嗣／岩波書店／¥1,100／ISBN=9784004320852） 火山の学習として、特に活火山富士山の成り立ちとその防災減災について、学べます。 ・地学雑誌 小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号）2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山 高ほか／東京地学協会／¥0） 次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents/-char/ja/ ・富士山境目図鑑（山梨県富士山科学研究所／丸善出版／¥2,420／ISBN=9784621305119） 富士山の5合目以上の自然環境動植物ことや活火山として富士山の成り立ち等を解説されています。 ・現場で熱を感じ探る 火山の仕組み（宇井忠英／ベレ出版／¥2,420／ISBN=9784860647360） 火山噴火の現象毎に写真など使用して、火山とはなにか 噴火の仕組みなどが解説されています。 ・地球進化 46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276／ISBN=9784062578653） 地球・太陽系の誕生からはじめて、地球の歴史についてまとめられています。
担当講師	ウチヤマ タカシ 内山 高 山梨県富士山科学研究所研究員／ 都留文科大学教養部学校教育学科非常勤講師		
日程 実施時間	11月28日(土) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～17:00 11月29日(日) 第1時限 9:50～11:20 第2時限 11:30～13:00 第3時限 13:50～15:20 第4時限 15:30～16:15 議論・レポート等 16:15～17:00	授業概要	【授業内容】 富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山への関心は海外でもさらに高まっています。しかし、富士山について自然科学的な側面から学ぶ機会はなかなかありません。特に、自然科学的な側面の内、火山としての富士山、まためぐみとしての水に関する、最新の自然科学的成果について解説も多くありません。 本講義では、火の山富士山として日本列島の誕生とかかわりが深く、三つのプレートが衝突する得意な地質的位置から、火山として富士山の成り立ちまで基礎的なことを学びます。そのうえで、水の山富士山として、豊富に湧き出す水の由来とめぐみについて学びます。 【到達目標】 富士山を例として火山噴火の現象を理解し、災害から自分の身を守るために、どうすればよいかを理解できる。また、火山の大きなめぐみについて自然科学的な側面から理解できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 火の山富士山 日本列島の誕生から富士山の成り立ち 第2回 火山の基礎と噴火様式 第3回 富士山の噴火の歴史 第4回 火山の噴火災害から身を守る 第5回 水の山富士山 どこを流れている？ 第6回 様々な水質とその起源 第7回 水の山富士山 そのめぐみ 第8回 全体のまとめ 【学生へのメッセージ】 富士山は「火の山」火山として荒ぶる山としての認識、かたや「水の山」として清涼な水の大きな水瓶となっています。このような富士山の光と影について、自然科学的な側面から一緒に考えていければと思います。 【受講前の準備学習等】 シラバスを参考にして、参考図書を読んで自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。 【受講者が当日用意するもの】 富士山に関する情報、特に火山及び水資源に関する情報を集めてみてください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。 【参考書】 ・富士山噴火 その日に備える（藤井敏嗣／岩波書店／¥1,100／ISBN=9784004320852） 火山の学習として、特に活火山富士山の成り立ちとその防災減災について、学べます。 ・地学雑誌 小特集：富士山の地下水（地学雑誌、126巻（2017）1号）2.（地学雑誌、129巻（2020）5号（内山 高ほか／東京地学協会／¥0） 次のURLから、該当する論文のPDFファイルをダウンロードすることができます。 https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jgeography/126/1/_contents/-char/ja/ ・富士山境目図鑑（山梨県富士山科学研究所／丸善出版／¥2,420／ISBN=9784621305119） 富士山の5合目以上の自然環境動植物ことや活火山として富士山の成り立ち等を解説されています。 ・現場で熱を感じ探る 火山の仕組み（宇井忠英／ベレ出版／¥2,420／ISBN=9784860647360） 火山噴火の現象毎に写真など使用して、火山とはなにか 噴火の仕組みなどが解説されています。 ・地球進化 46億年の物語（ブルーバックス）（ロバート・ヘイゼン（著）円城寺守（監訳）渡会圭子（翻訳）／講談社／¥1,276／ISBN=9784062578653） 地球・太陽系の誕生からはじめて、地球の歴史についてまとめられています。
実施会場	山梨学習センター		